

製品名: エロンギン A1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10419**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	87kDa

抗原情報

遺伝子名	TCEB3
別名	TCEB3; MSTP059; Transcription elongation factor B polypeptide 3; Elongin 110 kDa subunit; Elongin-A; EloA; RNA polymerase II transcription factor SIII subunit A1; SIII p110
遺伝子 ID	6924.0
SwissProt ID	Q14241
免疫原	抗血清はヒト TCEB3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

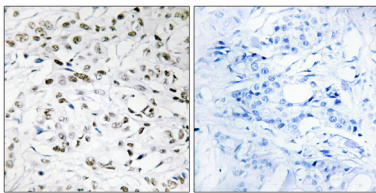
背景

この遺伝子は、転写因子 B (SIII) 複合体のサブユニットであるタンパク質エロンギン A をコードしています。SIII 複合体は、エロン

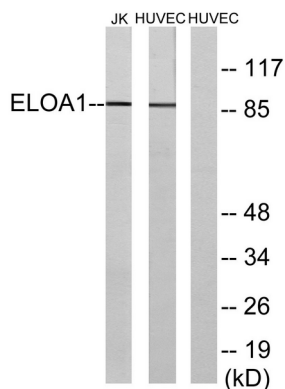
ギン A/A2、B、および C で構成されています。SIII 複合体は、転写単位内の多くの部位における RNA ポリメラーゼ II の一時的な停止を抑制することで、RNA ポリメラーゼ II による伸長を活性化します。エロンギン A は SIII 複合体の転写活性成分として機能し、エロンギン B および C は調節サブユニットとして機能します。エロンギン A2 は精巢で特異的に発現し、エロンギン B および C と安定な複合体を形成します。フォン・ヒッペル・リンドウ腫瘍抑制タンパク質はエロンギン B および C に結合し、転写伸長を阻害します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、ドメイン：エロンギン BC 複合体結合ドメインは、コンセンサス配列[APST]-L-x(3)-C-x(3)-[AILV]を有する BC ボックスとしても知られています。機能：SIII はエロンギンとしても知られ、RNA ポリメラーゼ II の転写伸長をテンプレートにコードされた停止部位を越えて促進する一般的な転写伸長因子です。サブユニット A は転写活性を有し、その転写活性は SIII 調節サブユニット B と C の二量体複合体（エロンギン BC 複合体）への結合によって著しく増強されます。類似性：1 つの F ボックスドメインを含みます。類似性：1 つの TFIIIS N 末端ドメインを含みます。サブユニット：A (A1、A2、または A3)、B、および C サブユニットのヘテロ三量体です。C サブユニットは、エロンギン BC 複合体とサブユニット A の結合を媒介します。

研究分野

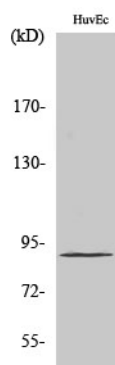
画像データ



ELOA1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



ELOA1 抗体を用いた HUVEC 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



エロンギン A1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

